お 知

◆「遠藤周作研究」第七号のお知らせ

ac.jp)にお申込ください。 望が載っています。ご希望の方は頒価 評、遠藤周作参考文献目録及び研究展 色い人」の第一エピグラフの謎を解明 の慶應義塾大学での講演をまとめた 第七号が刊行されました。加藤宗哉氏 周作学会事務局(yamane@post.ndsu 千円(送料別)でお送りします。遠藤 した論など充実した論稿が七編と、書 「遠藤周作と三田文学」にはじまり、「黄 遠藤周作学会発行の「遠藤周作研究」

内

容

▼新年会のお知らせ

ます。立食ではなく全員が着席で、 ての方もぜひ遠慮なくご参加くださ しく食べ飲み話し合える会です。初め 新年の懇親会を、左記により開催し 楽

ぞ御予定に入れておいてください。 改めてハガキでご案内しますが、どう 選任もお祝いしたいと思います。なお、 今回は、黒井千次顧問の文化功労者 2015年2月1日 $\widehat{\exists}$

会 会 場 7 0 0 0 円 東京・一ツ橋「如水会館」 12時30分~15時

◆遠藤文学講座のお知らせ 新講座「『侍』を読む」

日 時 12月13日、1月10日、2月 〔日程は変更する場合があり (土) 3時20分~4時50分

> 所 幼きイエス会 ますので、風編集室のHPか 電話等でご確認ください)

場

03-3261-0825 (四谷駅麹町口前

受講料 風編集室 1回2000円(学生半額) 山根道公

講

申込み

∑ kazehensyuusitu@gmail.com **™** 086-227-5665 『侍』を、史実との関係、自 察しながら読み解きます。 伝的要素、文体の特徴、日本 人とキリスト教等の問題を考

◆韓国日本キリスト教文学会、日本遠 藤周作学会共同学術大会及び遠藤周 作国際シンポジウムのお知らせ

学会・日本遠藤周作学会共同学術大会 演を中心とした韓国日本キリスト教文 マに遠藤周作国際シンポジウムを開催 及び、「『沈黙』をどう読むか」をテー ご覧下さい。 します。詳細は、 仁川大学で、遠藤文学の研究発表・講 2014年12月5~6日に、韓国の 遠藤周作学会HPを

◆黒井千次顧問、文化功労者に

芸術院長でもあります。 芸家協会理事長をつとめ、 2002年から2007年まで日本文 棲」「カーテンコール」などがあり、 の作家のひとりで、代表作に「時間」「群 さんは言うまでもなく「内向の世代」 部舜二郎)さんが、今年の文化功労者 に選ばれました(10月24日発表)。黒井 本クラブ顧問の黒井千次(本名・長 かつては遠藤 現在は日本

周作「宇宙棋院」にも参加、 したいと思います。

▶松田美緒さんのニュー・アルバム 『クレオール・ニッポン-

12月中旬 アルテスより発売 価 3,500円(税別)

す(詳しくは会報封入のチラシをご覧 など14曲を収録。隠れキリシタンにま れざる民謡や、ブラジル日系移民の歌 館でも歌った松田美緒さんの新しいア トとして出演し、昨年は遠藤周作文学 つわる長崎・伊王島の歌もふくまれま は、彼女が各地で出会った日本の知ら ルバムが発売されます。今回のCDに 今年の「周作忌の集い」に特別ゲス

◆「会報」の原稿募集

構です。 の人と作品に関することなら何でも結 1800字 (1ページ分)、 900字(半ページ分)あるいは、 会員の皆さんの原稿を募集します。 遠藤周作

下さい。ふるって御応募下さい。 務所内「周作クラブ」あてに郵送して 原稿は必ず下記の加藤宗哉事

「周作クラブ」会員募集

作クラブ」までおハガキかFAXを迎です。下記の加藤宗哉事務所内「周 ら読んでみようという若い人も大歓遠藤文学ファンはもちろん、これか 下されば、折返し会費振込み用紙を お送りします。

しての交友も知られています。来年の 周作クラブ」新年会で、皆でお祝いを 囲碁を通

うたの記憶を旅する』(CDブック) るのか、ふしぎです。

「周作クラブ」第57号

加賀 乙彦

2014年 11

月発行

■編 集 人 ■発 行人 高橋千劔破

■この号の編集者

■副編集人 田村百合子

近藤恭弘、高木香織、南紀洋子岡田厚美、一田佳希、大原雄、

■ 発 行 AX 0 3 - 3 4 2 1 - 1 5 2 1 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ

少回の会報発行は2月の予定です。

があるようです。ところで、身知らず柿は どなので身の程知らずの柿の木という二説 あまりにも多くの実がなり、枝が折れるほ 渋い柿が、渋抜きでなぜかくも甘い柿にな 渋柿です。 どうやっても食べようのないあの 知らず柿。美味で、身体をこわすほどに食 会津と縁が深いのですが、会津と言えば身 べ過ぎてしまうからという説と、一つの木に ▼あちこちで柿の実がたわわです。小生は

らっています。十頁ほどの会報とはいえ、 さんを応援して下さい。それに、記事を書 はこの「後記」を書くだけで楽をさせても を裏で支えているのは加藤宗哉幹事。小生 委員の皆さんも。 いたり校正したり会報を発送したりの編集 から田村百合子さんに代わりました。編集 編集は結構大変です。どうぞ皆さんも田村 ▼さて、今号から副編集人が金子コウさん

げます。加賀乙彦会長も文化功労者で、 労者になられました。心よりお祝い申し上 ▼本会の黒井千次顧問が、このたび文化功 一人は周作クラブの誇りです。